

2018 年 (平成 30 年) 5 月 30 日(水) NO 122 号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



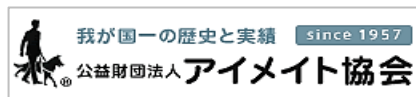
機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】

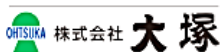


RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



おかげさまで 80 周年



～永遠の心を刻む石づくり～



今月の言葉



人は誰も弱さを抱えており、失敗をすることもあります。
もしまったく失敗のない、完璧な人がいたとしたら、なんと
なく近寄りがたく思えるのではないのでしょうか。
みんな欠点だらけです。

最も身近な家族とは、その欠点を許し合い、安心して見せ合うことができるようにしたいものです。

そうしていたわり合うところに、家庭のモラルが成り立つのでしょう。

日々の暮らしの中で、ほんの小さなことにも「ありがとう」の言葉を添え、また「ごめんなさい」と謝るなど、ちょっとした心づかいを大切にしていきたいと思います。

今月の良い話

六秒の奇跡

人の言動で心が動いてしまいそうになる時、それを防いでくれる「六秒の奇跡」と呼ばれる方法があります。例えば、誰かから激しく叱られたり罵倒されたりしたような場合、

「あっ、いま動揺してしまっているな、傷ついたな」

と客観的な目で自分を観察し、六秒間呼吸を整えて心を静めるのです。

そうすれば、マイナスの思いが消えていき、気持ちを乗っ取られずに済むと言われています。

刺激に対してすぐに反応してしまえば、感情の虜になってしまいます。

自分を冷静に観察するこの練習を続けていくうちに、人の言うことはそれほど深いものでも真実に根ざしたものでもないことが分かってきます。

そして「人の目ばかりを気にして生きる自分、欠点の多い自分であっても、大自然から生かされている尊い存在なのだ」という自覚が芽生えてきて、いつの間にか自分を受け入れることができ、自分自身と仲よしくなっていくことでしょう。



セルフイメージを高める一番の方法は、このように人間は大自然によって生かされていることを実感し、それに感謝することです。

人間を生かしてくれるのは大自然だけではありません。

親や学校の先生、友人、隣近所の人たち、職場の上司や同僚など多くの人たちの支えがなくては、私たちは生きていくことができません。

自分に愛情を注ぎ、育ててくれようとした人たちに思いを馳せてみることも自己肯定に繋がります。

もちろん、人間は成長するにしたがって多くの失敗や挫折を経験します。

そのことがトラウマになって先に進めなくなる人がいるかもしれません。

そういう時は小さな成功を自分で認めて、自信を積み上げていくことです。

「きょうも頑張って仕事できた」

「お客様から喜んでいただけた」

「道に落ちていたゴミを拾った」というような些細なことでも

「ああ、いいことができた」と喜ぶ習慣をつけることが大切なのです。

まるで親が小さな子供を褒めて育てるように、当たり前と思えるようなことでも自分で自分のいいところを見つけて教育していく中で、いつの間にかセルフイメージは高まっていくことでしょう。顔の形が異なるように、人間の個性も皆違います。

共通しているのはただ一つ、奇跡的な命を授かって生かされていることです。

その素晴らしさに気づいていただくことが私の何よりの願いです。

国際コミュニケーション学会名誉会長 鈴木 秀子 記事提供 致知出版社

今月の良い話

「宝塚 ブスの 25 箇条」

宝塚歌劇団といえば 1914 年の初公演以来、数多くのスターが輩出した名門ですが、そんな劇団のとある場所に「ブスの 25 箇条」なるものが貼られているそうです。いつ誰が書いたものかはわからないものの、ずっと張られたままになっています。「清く、正しく、美しく」あるために、先輩が後輩に書き遺したものでしょう。

.....

1. 笑顔がない
2. お礼を言わない
3. 美味しいと言わない
4. 精気がない
5. 自信がない
6. 愚痴をこぼす
7. 希望や信念がない
8. いつも周囲が悪いと思っている
9. 自分がブスであることを知らない
10. 声が小さくイジケている
11. なんでもないことに傷つく
12. 他人に嫉妬する
13. 目が輝いていない
14. いつも口がへの字の形をしている
15. 責任転嫁がうまい
16. 他人をうらやむ
17. 悲観的に物事を考える
18. 問題意識を持っていない
19. 他人につくさない
20. 他人を信じない
21. 人生においても仕事においても意欲がない
22. 謙虚さがなく傲慢である
23. 他人のアドバイスや忠告を受け入れない
24. 自分が最も正しいと信じ込んでいる
25. 存在自体が周囲を暗くする



.....

「清く、正しく、美しく」。現代社会では、忘れ去られた言葉かもしれません。宝塚歌劇団の創業者である小林一三氏の遺訓でもあるこの言葉は、荒廃しているいまだからこそ、思い出すべき言葉ではないかと思います。人は本来、「清く、正しく、美しく」あります。その本能を偽ってはいは、やがて心のバランスが取れなくなり、崩壊する時がやってきます。そうならないためには、どれだけ厳しい環境にしようとも「清く、正しく、美しく」あることを心掛けなければなりません。

////////////////////////////////////

記事提供 まぐまぐニュース

事件ファイル NO122

洗濯物と布団



ほとんどの空き巣は下見をされています。雨が降っているのに軒下やベランダに洗濯物を干したままにしておく留守だとわかってしまい、空き巣の被害に遭いやすくなります。

反面、布団を干している家は、外出している可能性が低いため、空き巣が敬遠されています。

逆に雨が降ってきているのに布団を干したままだと留守だとばれてしまいますが・・・。

ちょっとしたことですが、このように家人が在宅か不在かのサインを自ら出していることがありますので十分にご注意下さい。



プロ太の小話集

NO122

『 浮気 』

夫が2週間の出張から帰ってきた。

妻 「おかえりなさい、あなた。浮気なんかしなかったでしょうね？」

夫 「するわけないだろう」

そして激しく愛し合う二人。

すると隣の部屋の男が怒鳴った。

「毎晩毎晩、いい加減にしろーっ！」



今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

上の絵のような泥棒は見たことがありませんよね。

こんな格好をしていたら警察官にすぐ職務質問されるでしょう。

私がまだ若いころ、ALSOK でガードマンをしていた時期があります。

朝方の3時ごろでしたでしょうか、雑居ビルに忍び込んだ50代後半の犯人を現行犯逮捕したことがあります。

この犯人はツイードのジャケットにネクタイを締め、見た目はまあまあの紳士でした。警察の調書でこの犯人が前科6犯だったのを聞き、青ざ

めた記憶があります。侵入窃盗犯で一番多い服装は、「スーツ」で、次が「作業着」。

その地域に馴染んだ違和感を感じさせない服装をしています。(写真は本文無関係)

周囲に見慣れない人を見つけたときはその人の顔をジッと見てあげて下さい。

泥棒は顔を見られるのを一番嫌いますので、それだけでも犯罪抑止につながりますから。

注：プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)